

<目次> 平成30年度 主要事業等実施の状況及び事務事業評価結果（一般会計）

12款（公債費）

款	項	目	事務事業名	頁
12	1	1	長期償還元金	1
12	1	2	長期償還利子	2
12	1	2	一時借入金利子	3

款	12 公債費	項	1 公債費	目	1 元金
事務事業名	長期債償還元金				
決算額(円)	財 源 内 訳 (円)				
810,795,542	国庫支出金	道支出金	市債	その他	一般財源
				453,284,364	357,511,178
事業目的	地方債償還元金の適正な償還を図る。				
事業内容及び成果	公共施設等の整備に係る市債や、地方交付税の財源不足を補うために発行された臨時財政対策債など、今まで借り入れた地方債の元金を、償還条件に基づき適正に償還した。				

<事務事業評価結果>

1	市が実施する必要がある事務事業か	A 必要 (2点) B どちらかといえば必要 (1点) C 必要ではない (0点)	A	2点
2	重点事業との関連性	A 重点事業 (2点) B 一般事業 (1点)	B	1点
3	事務事業を休止・廃止した場合の影響は大きい	A 影響は大きい (2点) B 影響は小さい (1点) C 影響はない (0点)	A	2点
4	緊急性	A 緊急性は高い (2点) B 緊急性は低い (1点)	B	1点
5	他の事業との統合や民間委託等はできないか	A 検討の余地はない (2点) B 検討の余地がある (1点) C 可能である (0点)	A	2点
6	コスト縮減の余地	A 現状の手法しかない (2点) B 余地がある (1点)	A	2点
計		(10点以上=A、6~9点=B、5点以下=C)	A	10点
総合判定	<input checked="" type="checkbox"/> A 継続 <input type="checkbox"/> B 見直し <input type="checkbox"/> C 廃止・終了			

款	12 公債費	項	1 公債費	目	2 利子
事務事業名	長期債償還利子				
決算額(円)	財 源 内 訳 (円)				
71,377,899	国庫支出金	道支出金	市債	その他	一般財源
				113,851	71,264,048
事業目的	地方債償還利子の適正な償還を図る。				
事業内容及び成果	公共施設等の整備に係る市債や、地方交付税の財源不足を補うために発行された臨時財政対策債など、今まで借り入れた地方債の利子を、償還条件に基づき適正に償還した。				

<事務事業評価結果>

1	市が実施する必要がある事務事業か	A 必要 (2点) B どちらかといえば必要 (1点) C 必要ではない (0点)	A	2点
2	重点事業との関連性	A 重点事業 (2点) B 一般事業 (1点)	B	1点
3	事務事業を休止・廃止した場合の影響は大きいか	A 影響は大きい (2点) B 影響は小さい (1点) C 影響はない (0点)	A	2点
4	緊急性	A 緊急性は高い (2点) B 緊急性は低い (1点)	B	1点
5	他の事業との統合や民間委託等はできないか	A 検討の余地はない (2点) B 検討の余地がある (1点) C 可能である (0点)	A	2点
6	コスト縮減の余地	A 現状の手法しかない (2点) B 余地がある (1点)	A	2点
計		(10点以上=A、6~9点=B、5点以下=C)	A	10点
総合判定	<input checked="" type="checkbox"/> A 継続 B 見直し C 廃止・終了			

款	12 公債費	項	1 公債費	目	2 利子
事務事業名	一時借入金利子				
決算額(円)	財源内訳(円)				
1,838,911	国庫支出金	道支出金	市債	その他	一般財源
					1,838,911
事業目的	一時的な資金の不足に対応するための、短期借入金に係る利子の償還				
事業内容及び成果	支払資金の不足に対応するために借り入れた、一時借入金の利子を償還した。				

<事務事業評価結果>

1	市が実施する必要がある事務事業か	A 必要 (2点) B どちらかといえば必要 (1点) C 必要ではない (0点)	A	2点
2	重点事業との関連性	A 重点事業 (2点) B 一般事業 (1点)	B	1点
3	事務事業を休止・廃止した場合の影響は大きいか	A 影響は大きい (2点) B 影響は小さい (1点) C 影響はない (0点)	A	2点
4	緊急性	A 緊急性は高い (2点) B 緊急性は低い (1点)	B	1点
5	他の事業との統合や民間委託等はできないか	A 検討の余地はない (2点) B 検討の余地がある (1点) C 可能である (0点)	A	2点
6	コスト削減の余地	A 現状の手法しかない (2点) B 余地がある (1点)	A	2点
計		(10点以上=A、6~9点=B、5点以下=C)	A	10点
総合判定	<input checked="" type="checkbox"/> A 継続 <input type="checkbox"/> B 見直し <input type="checkbox"/> C 廃止・終了			